

5月21日  
天候に恵まれ珍しい天文現象を楽しむ  
町内各地で日食の観測会



国内で見られるのは25年ぶりという金環日食になった5月21日、町内でも各地で観測会が行われました。  
今回、町内は金環日食が観測できるエリアではなく、部分日食でしたが、最大食分(最大に欠けて見える)が86.1%と相当な欠け方で、なかなか観測することができない珍しいものです。観測会を行った弟子屈小学校では、児童や保護者が日食眼鏡を使って観測。天候にも恵まれ、歓声を上げながら日食に見入っていました。

5月20日  
弟子屈・標茶・鶴居の消防職団員が一堂に会し  
総合演習で技術と士気の高揚を図る



平成24年度第38回釧路北部消防事務組合総合演習が5月20日、川湯中学校グラウンドなどで行われました。  
春の火災多発期にあたり、住民の皆さんの防火思想を高めるとともに、実戦訓練を通じて消防職団員の士気高揚と、消防活動の充実強化を図ることを目的に毎年行われています。同組合の弟子屈・標茶・鶴居・川湯消防の職団員約175人が参加し、分列行進や火災発生を想定した総合訓練を行いました。

4月25日・5月2日  
自分たちの町をきれいに  
川湯地区の皆さんが清掃活動



川湯温泉第1・第2・第3・敷島町・川湯みどり・川湯駅前道の各自治会の皆さんが4月25日、川湯温泉市街地と川湯駅前地区の清掃を行いました。  
観光シーズンの幕開けを前に地域をきれいにしたいと、例年この時期に行っています。5月2日には跡佐登自治会の皆さんも地域の清掃を実施。2日間で約280人が参加し、合計で軽トラック18台分、約2,810キロのごみを集めました。

カメラスケッチ  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。  
企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

5月22日  
おいしいお芋になぁ〜れ  
摩周丘幼稚園児が芋植えを体験



摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)で5月22日、毎年恒例の芋植えが行われました。  
園児は長靴と軍手を身につけ、クラスごとに畑へ移動。先生に植え方を教わった後「おいしくな〜れ」と願いを込めながら、ジャガイモの種芋を丁寧に畑に植えていました。  
秋には保護者と一緒に芋掘りを行い、収穫祭を行う予定です。園児は今から楽しみにしている様子でした。

5月22日  
開校100周年記念の一環でグリーンウェイブに参加  
美留和小学校児童がエゾヤマザクラなど植樹



美留和小学校(梅津和広校長)の児童の皆さんがグリーンウェイブに参加し、5月22日に校庭で植樹を行いました。  
「グリーンウェイブ」とは、国連が定める「国際生物多様性の日」の5月22日に、子どもたちが学校や地域などで植樹を行う活動です。今年、開校100周年を迎える同校が活動に賛同し、地域の方と一緒に植樹を行いました。町緑化推進委員会と100周年記念事業協賛会から寄贈されたエゾヤマザクラやモミジなど18本を、心を込めて植えていました。

5月12日  
身近な川湯の森に触れてみよう  
小・中学生向け体験活動「もりのパレット探検隊」



町内小・中学生対象の自然体験活動「もりのパレット探検隊」(川湯エコミュージアムセンター主催)が始まりました。今年度は川湯の森を6回に分けて遊び尽くします。第1回が5月12日に行われ、小学生28人が参加。「まずは実際に歩いてみよう」と、季節外れの雪が積もった外へ飛び出しました。川湯園地内では山菜を探したり、シラカンバの樹液を観察。シラカンバの樹皮をたき付けにして火をおこし、ヨモギ団子を作って食べたりもしました。体を存分に動かしながら、自然の息吹に接した1日となりました。

4月26日  
放水技術の向上ときれいな街並みを目指して  
川湯消防署と消防団が放水訓練



釧路北部消防事務組合川湯消防団(濱岡正次団長)と弟子屈消防署川湯支署(菅江泰大支署長)が4月26日、川湯温泉街で放水訓練を行いました。  
職団員の放水技術の向上と、行楽シーズンを迎え観光客にきれいな街並みを見られるよう温泉街の道路清掃を兼ねて、毎年実施しています。雪解け後の道路脇にたまった土や枯れ葉、ほこりなどを、ホースを巧みに操って放水し、洗い流しました。職団員は、きれいになっていく道路と街並みに、川湯温泉街の「火の用心」と防災の誓いを新たにしていました。

5月23日  
ふるさとの良さを再認識  
春のツアーで名木を観賞



町が指定した名木を巡るツアーが、5月23日に開催されました。名木は、公募の中から地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定したものです。ツアーは2007年から春と秋の年2回開催され、春のツアーは桜を中心に行われています。根釧西部森林管理署との共催で、釧路市からの参加者も含め35人が参加。名木の選考委員長を務めた須田文男さんから、樹齢などの説明を受けながら見学しました。ちょうど桜が満開で、参加者からは感嘆の声が聞かれました。

5月23日  
弟子屈町の農業を知ろう  
公民館で地産地消と野菜づくりの講座



町食育推進会議と公民館主催の「弟子屈町の農業を知ろう!地産地消と野菜づくり講座」が5月23日、公民館で開催されました。  
家庭菜園の基礎のほか、町の農業についても知ってほしいと初めて開催されたもので、34人が受講。初めに、役場農林課の職員が、町の農業の現状と地場産品、食育について説明。続いて、釧路農業改良普及センターの高橋義幸さんから、家庭菜園のポイントや土づくり、野菜の性質などについての講義があり、受講者の皆さんが熱心に聴き入っていました。

5月20日  
釧路川源流部の湿地・森を歩く  
エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事



川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「釧路川源流部の湿地・森を歩く」が5月20日に行われました。  
普段は一般開放されていない玉川大学演習林を歩ける機会とあって、定員いっぱいの20人が参加。汗ばむほどの陽気の中、同大農学部金井秀明技術指導員の解説を聞きながら、約2時間かけて湿地に生える樹木や草花を見て歩きました。植物は種類によって茎の形が違うということや、生き残るための秘密といった話には感嘆の声も。午後は、同大学で飼育されている牛や羊、ダチョウといった動物との触れ合いも楽しみました。

5月19日  
今年は紙芝居オンパレード  
おはなしはらっぱスペシャルを開催



おはなしはらっぱスペシャルが5月19日、公民館で開催されました。今年「紙芝居オンパレード」と題して、絵本の会おはなしはらっぱ(笹島久美代表)の皆さんが「泣いた赤おに」など4つの紙芝居を披露。訪れた親子連れなどが楽しみました。また、昨年度に行った古本市の収益金で、大型絵本2冊と紙芝居4点を町図書館に寄贈しました。縦の長さが1メートル以上もある大型絵本は、子どもたちのリクエストにより、早速読み聞かせが行われました。